

研究成果発表会・講演会

日時

令和8(2026)年
10月21日(水)
13:20~15:50

場所

富山県薬事総合研究開発センター
2階 大会議室
939-0363 富山県射水市中太閤山17-1

参加費無料

講演

生薬国内生産の維持・拡大に向けた取り組み

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター
センター長 **吉松 嘉代** 氏



近年、生薬の国内自給率はわずか9%にとどまっています。さらに、生産者の高齢化、地球温暖化、国際情勢の変化などにより、生薬のサプライチェーンの維持・確保はますます重要な課題となっています。

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センターは、薬用植物に関する国内唯一の総合研究センターとして、薬用植物の栽培・育種技術の開発、科学的評価に関する研究、種苗の供給、栽培技術の指導などに取り組んでいます。

本講演では、同センターの概要とともに、生薬の国内生産を維持・拡大するための取り組みについてご紹介いただきます。

研究成果発表

① プロテオーム解析基盤の構築：創薬研究開発の県内振興を目指して

創薬研究開発センター主任研究員 **小島 理恵子**

プロテオーム解析は、タンパク質を網羅的に解析する技術であり、創薬標的や疾患バイオマーカーの探索、薬理作用の解明などに広く活用されています。薬事総合研究開発センターでは、質量分析計を用いたプロテオーム解析技術を導入し、解析手法の整備・拡充を進めてきました。また、富山県内外の企業利用を支援し、研究開発への活用にも繋げています。本発表では、これまでの取り組みや成果について報告します。

② 免疫細胞ネットワークによる腸管恒常性制御機構の解析

創薬研究開発センター主任研究員 **柳橋 努**

腸内細菌叢の構成バランスの破綻はさまざまな疾患の発症・進展に関与することが知られており、その恒常性維持は宿主の健康維持に重要です。また、腸内細菌叢は宿主免疫系によって緻密に制御されていることが明らかにされつつあります。本発表では、我々が見出した、複数の免疫細胞が形成するネットワークを介した新たな腸内細菌叢の恒常性維持機構について報告します。

申込
方法

以下のURL（フォーム）またはFAXにてお申込みください。
お申込期限：10月16日（金）
<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/XJZM5Brw>



お問い合わせ

富山県薬事総合研究開発センター 研究協力課 担当：浅井
TEL：0766-56-6026（代表） FAX：0766-56-7285

富山県薬事総合研究開発センター **研究成果発表会**

FAX 0766-56-7285 フォームまたはFAXよりお申込みください

お申込期限 令和8年10月16日(金)

企業・団体名			
所属名			
申込担当者 氏名		役職	
連絡先	TEL:	FAX:	
	E-Mail:		
	参加者氏名	会社名・所属等	
1			
2			
3			
4			
5			

ご記入いただいた情報は、当発表会の実施に係る業務以外には使用いたしません。

お問い合わせ

富山県薬事総合研究開発センター 研究協力課 浅井
TEL 0766-56-6026 FAX 0766-56-7285